



Ⅰ 「1人1台端末を活用した授業改善」 公開授業研究会



12月9日（金）に、「1人1台端末を活用した授業改善」にかかわる公開授業研究会を実施しました。小学部、中学部の授業を参観していただき、授業の様子や授業者の自評をもとに参加者と意見を交わしたり、指導助言を頂いたりしました。



講演会では、九州ルーテル学院大学 増本利信 准教授より「発達障害のある児童生徒の学びの支援」についてお話しいただきました。1人1台端末などのICT機器を見童生徒の学習に活用する上でのベースとなる考え方や児童生徒の視方について学ぶことができました。

その他、機器展示・アプリ体験コーナーを設置し、参加者と実際にアプリを操作しながら情報交換を行いました。

【参加者アンケートより】文末の（ ）は回答者の所属

- ・小学部の研究授業で、生徒との言葉のやり取りが参考になった。文字を書くことが苦手な生徒がいるのでデジタルワークシートを参考にしたい。（小中学校）
- ・中学部の研究授業で、生徒たちが意欲的に参加している姿が印象的だった。はなまるフォームを使って自分の出来栄を振り返ることで、次はこうしようという意欲につながっていたように感じた。（特別支援学校）
- ・（講演会について）学習の困難さをどのように支援していくのか、子供は一人ずつ違うので正解はないが色々なことを試行錯誤していく楽しさを見出せると思った。（本校）

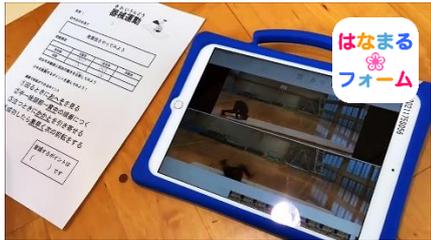
2 授業紹介～公開授業で実施した授業の様子を紹介します～

【小学部】総合的な学習の時間「ロボットを動かそう」



ロボットプログラミング選手権への出場をテーマに、プログラミング学習に取り組みました。学習用端末を使ってプログラミングをしたり、デジタルワークシートに記入したりしながら、思い通りの動きができるまでプログラムの工夫改善を繰り返しました。

【中学部】保健体育「マット運動」



「前転の発展技ができるようになろう」を目標に、客観的な視点から自己の運動課題を発見する学習をしました。アプリ「はなまるフォーム!!」を使い、撮影した自分の動きをすぐに振り返り、教師と技の改善ポイントを確認することで、動きを意識しながら運動に取り組みました。

3 活用の様子



【高等部】音楽「音楽発表会で発表しよう」では、Web アプリ バーチャル鍵盤ハーモニカ「ドレミーア」を使って学習しました。階名や色分けされた鍵盤を表示できるため、手元の楽譜の階名や色を手掛かりにして学習を進めることができ、休み時間にも積極的に練習する姿が見られました。音量も調整できるため、自分に合わせて自分で調整していました。



【中学部】技術・家庭科（技術分野）情報の技術「プロロを動かそう！」では、ロボットプログラミング選手権 2022 九州地区大会に向け、対戦を重ねてプログラムを改良し、試行錯誤しながらプログラムを作成しました。手に汗握る試合の結果、4位入賞で全国大会出場を決め、大きな達成感を得ることができました。2月1日（水）に全国大会が行われ、初戦は静岡県立天竜特別支援学校チームと対戦します。